

●世界各地で医療支援の輪を広げる●

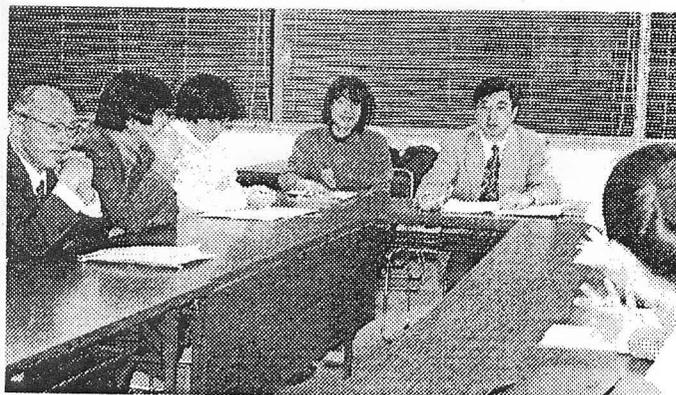
県立こども病院医師ら

会員50人でスタート

国内2番目

「AMDA兵庫」7日に発足

途上国を中心に世界各地で緊急医療救援や医療援助を行っている国際医療NGOの「AMDA」(アジア医師連絡協議会、本部・岡山市)の兵庫県支部が7日に発足する。このほど行われた準備会で、会則などを決め、名称を「AMDA兵庫」(仮称)とし、神戸市内で第1回の総会を開くことになった。国内では神奈川県に次いで2番目の支部発足で、当初の会員は約50人になる見込み。また、3月1日、菅波茂・本部代表を招き、支部発足を記念する講演会(毎日新聞社後援)も



「AMDA兵庫」の設立について打ち合わせをする連さん(中央右)ら

ネパールの病院運営などサポート

行う。
AMDAの理念・活動についての広報、会員の増大や相互交流、情報交換や研修活動を通じ、AMDA本部の「相互扶助思想」に基づく人道援助活動を推進するのを目的に設立。
支部長は宝塚市在住で、AMDA本部の役員でもある連利博・県立こども病院外科部長。連さんは、毎日新聞が繰り広げて今年で20年になる「飢餓・貧困・難民救済キャンペーン」で1996年、「ネパールに子ども病院を」と呼びかけているのを知り、活動に参加。5歳未満の乳幼児の死亡率が日本の約20倍なのに、小児専門病院が首都・カトマンズにしかないことなどを知った。友人で神戸大に留学中のネパール人医師が、AMDAネパール支部長として病院建設に携わっていたことから、中心となって協力するうち、「途上国での人道援助」のAMDAの理念に共感し、入会したという。

総会は7日午後2時から、神戸市中央区栄町通4の3の5、毎日新聞神戸ビル3階会議室で。講演会は3月1日午後3時から、同所。

来月1日に 記念講演会

講演会は菅波代表が「NGOの国際戦略」と題し講演した後、「ネパールに対するNGO研究」をテーマに、生活環境▽医療と看護の実情▽NGOの問題点▽AMDAネパール子ども病院設立——など各分野からの報告を行う。資料代1000円。希望者はだれでも総会、講演会に参加でき、県内に居住または勤務する人で、AMDAの理念に共感する人ならだれでも入会できる。その場での入会も可。申し込み、問い合わせは、事務局のやまだ小児科(07998・71・9982)、ファクス兼用、月々金曜日の8時半～11時半、13時半～17時)へ。

【運見 新也】

病院建設は毎日新聞とAMDA本部がタイアップ、